

大阪・関西万博における兵庫県の取組の評価と今後の県政展開に対する意見

『大阪・関西万博』ひょうご活性化推進協議会企画委員会

兵庫県では、大阪・関西万博に向けて、この機会を活かし兵庫の躍動につなげるための各種施策を約3年半にわたり展開してきた。その経緯に関わり、助言してきた立場から、兵庫県の取組に対する評価と今後の県政展開に向けた意見を申し上げる。

今回の万博は、単に産業発展や技術革新の成果を披露する場としてだけでなく、人類共通の課題解決を提言し、持続可能な社会の実現に資することを目指して開催された。

兵庫県では、万博をきっかけに展開される「共創の輪」に県民が主体的に参加し、万博がもたらす活力を兵庫に根付かせるため、公民連携の視点による様々な事業を展開してきた。

その中心にあったのが、「ひょうごフィールドパビリオン」である。単なる観光誘客ではなく、兵庫各地にある日々の活動に光を当て、主体的な行動とプレイヤー同士の共創を促すことで、兵庫の躍動の原動力となるプラットフォームを構築することができた。

ひょうごフィールドパビリオンを基盤として展開してきた数々の事業により、新たな価値の創出と交流人口の拡大、ふるさとの魅力の再評価、県内・国内外の様々な主体との連携、子どもたちの参画などの成果が確認できた。また、一連の取組による経済効果は670億円と推計されているなど、この3年半にわたる取組みは、全体感として評価できるものと考ええる。

加えて、兵庫への関心の高まりやシビックプライドの醸成など中長期的にみて成果の上積みが期待できる素地も確認できている。

万博は終了したが、兵庫の各現場はこれからも続いていく。今回得た成果と教訓を一過性で終わらせることなく、引き続き、ひょうごフィールドパビリオンを発展させるとともに、これを基盤として中長期的視点で施策展開されることを期待する。

以下に、個別・具体の評価と提言を述べる。

第一に、ひょうごフィールドパビリオンについてである。

この取組をとおして、兵庫の各地域に埋もれがちな小さな資源を、商業誘客視点に限ることなく幅広く掘り起こし、268のSDGs体験型地域プログラムとして確立した。それらの背景にある自然の恵みと人の営みを見つめなおし、ストーリーとして整理することで地域資源に対する誇りと評価が高まった。

特筆すべきは、事業展開にあたり、分野を超えて全庁横断的に取り組んだこと

と、補助金を前提としない枠組とした点である。その結果、プレイヤーが主体的・意欲的に活動し、地域や分野を超えたネットワーク化が進んだ。公民連携により持続可能な地域社会の実現を目指す好事例であり、SDGs 未来都市自治体モデル事業にふさわしい。

一方で、アンケート調査結果にあるように、来場者評価に比してプレイヤーの自己肯定感がまだまだ低い。各プレイヤーの取組状況も考慮しつつ、自己肯定感を喚起するための方策を工夫されたい。

また、誘客や地域活性化に成果を上げているプログラムがある一方で、未だそうした水準に到達していないプログラムも少なくない。プログラムの熟度や目指している方向性などに応じた支援を展開されたい。

さらに、成果をあげている事例には、プレイヤー間のネットワークや市町・観光協会など関係機関によるサポート体制が備わっているものが多くみられる。こうした事例を分析し、県としてもこれまで以上に市町等の関係機関を巻き込みながら、ネットワーク化とサポート体制の強化に向けた取組を推進されたい。

第二に、万博会場や県内の各拠点での取組についてである。

これらの多くは、万博閉幕をもって終了したものであるが、得られた成果を途切れさせないように取り組むことが肝要である。

関西パビリオン兵庫県ゾーン、ひょうご EXPO TERMINAL、ひょうご楽市楽座といった拠点施設、ひょうごフィールドパビリオンフェスティバルをはじめとした各種イベントは、総じて高い満足度を得ていることがアンケート結果から確認できた。この満足度を将来的な兵庫の交流人口・関係人口としていくため、機運を風化させない取組が重要であり、適時性をもって施策を講じられたい。

また、拠点施設等を舞台に、ひょうご EXPO week をはじめとした事業を展開することで、国内外・県内に新たな連携が数多く構築された。このつながりを育んでいくため、全庁をあげて成果を共有し、連携を継承していかれたい。

先端技術の活用やデジタルとアナログの融合などにも取り組まれ、一定の成果が得られたところであり、引き続き挑戦と創意工夫の姿勢を大切にされたい。

最後に、子どもたちが参画した取組についてである。

ひょうご EXPO DREAMBUILDERS では、子どもたちが主体的に学ぶ力を育み、兵庫をますます好きになってもらうことができた。未来社会を担う子どもや若者が、ひょうごフィールドパビリオンなど兵庫の魅力をより深く理解し、誇りに感じるための機会づくりに引き続き取り組まれたい。

また、万博子ども招待プロジェクトでは、参加校の多くが事前・事後学習をしっかりと行い、海外文化や先端技術を学ぶ機会となった。引き続き、子どもたちが将来の活躍の場を広げるための機会づくりにも取り組まれたい。